

子どもの主体性を育み、 社会変容につなげるための学びの実践について

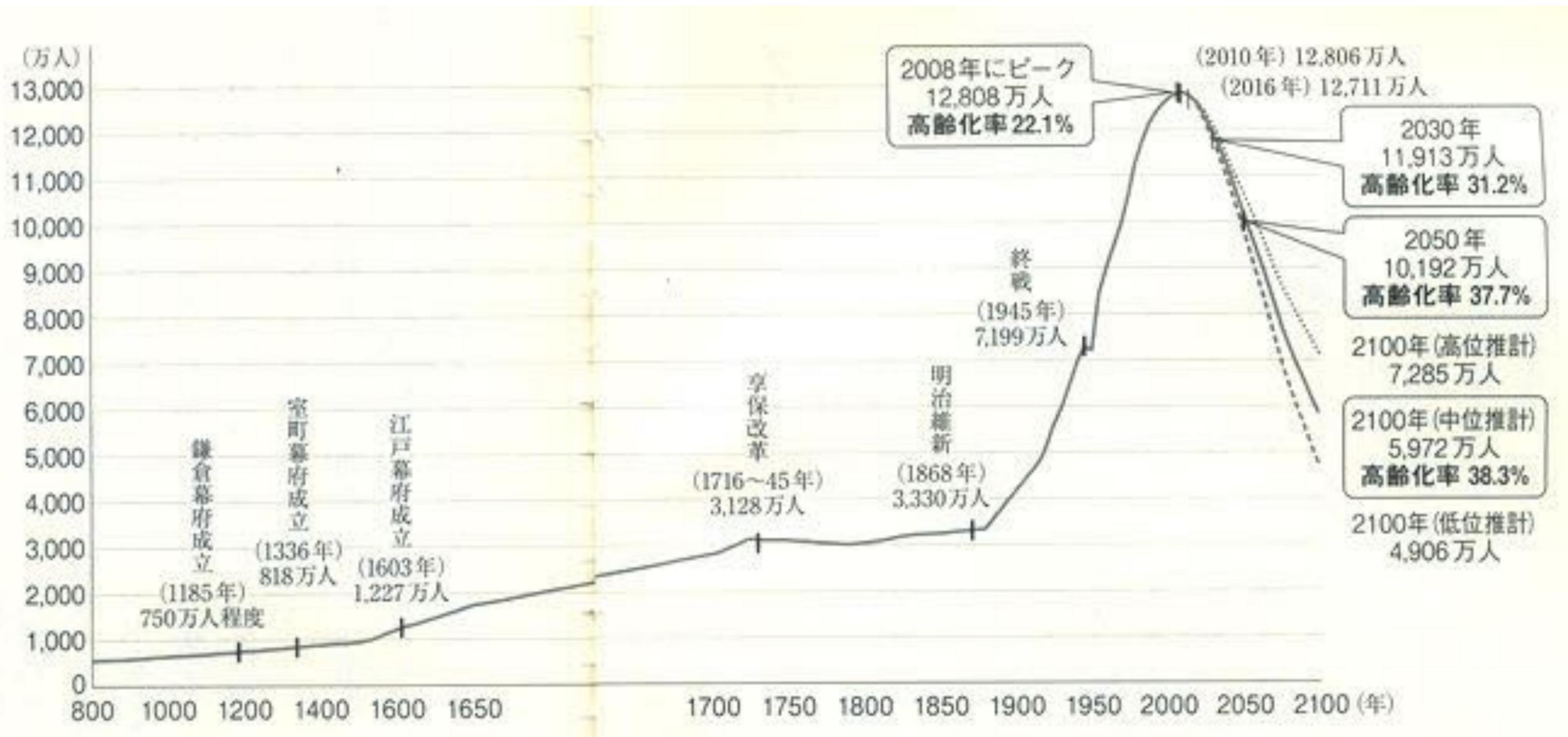
新渡戸文化中学校・高等学校 副校長
(一社)旅する学校 代表理事(共同代表)
(株)ゲイト CSV教育デザイナー
(一社)Think the Earth
立教大学 環境会 副代表

さん とう りょ ぶん
山 藤 旅 聞

私の立ち位置

事実・現実(未来)

誰もが経験していない未来の日本と教育①



総務省「国勢調査報告」および「人口統計年報」より国土交通省が作成

島国・日本の食料自給率(自立)と教育②

表1 2035年の日本の実質的な食料自給率

(単位:%)	食料国産率		飼料・種自給率	食料自給率	
	(A)	2035年推定値	(B)	(A×B)	2035年推定値
コメ	98	106	10	10	11
野菜	80	43	10	8	4
果樹	40	28	10	4	3
牛乳・乳製品	59	28	42	25	12
牛肉	43	16	26	11	4
豚肉	48	11	13	6	1
鶏卵	96	19	13	12	2

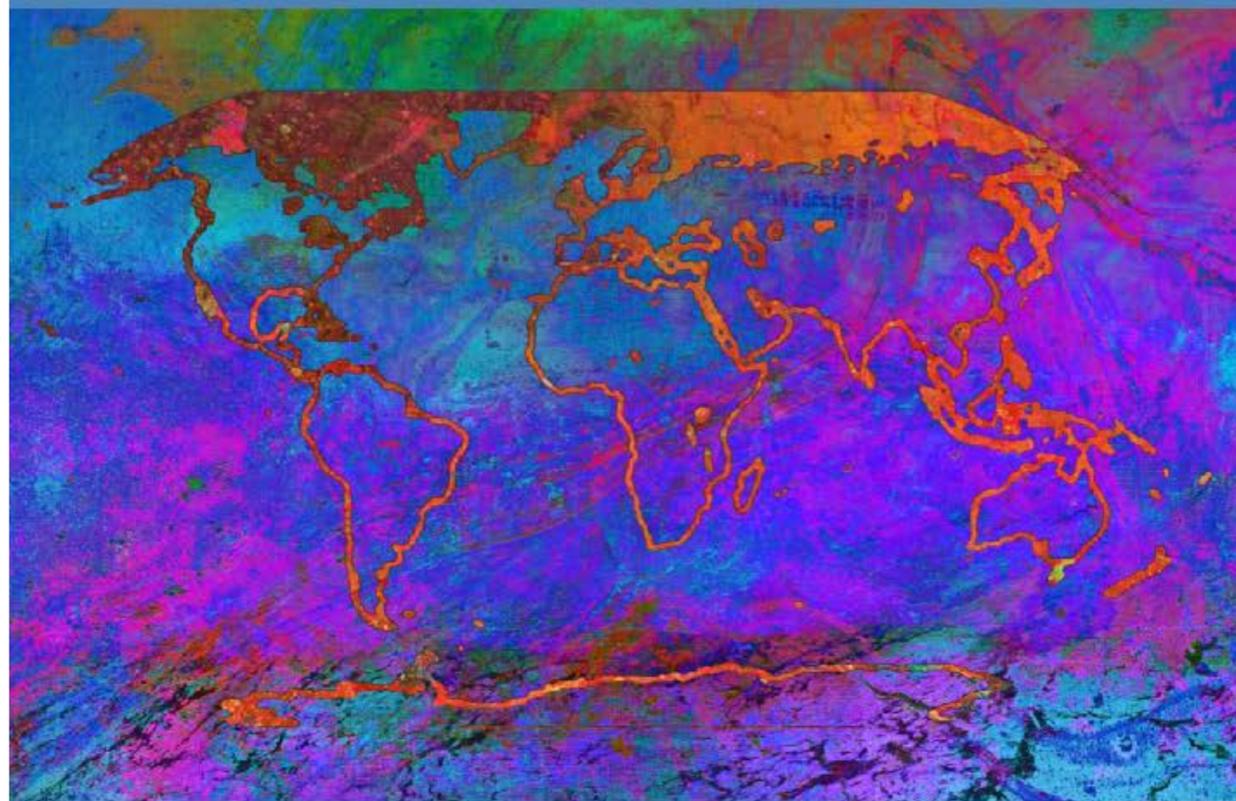
注:1) 種の自給率10%は野菜の現状で、コメと果樹についても同様になると仮定。

注:2) コメ需要は2015=100として2035=62、供給は100→66だが、種の9割が輸入なら66→6.6。

注:3) 鶏卵はヒナがほぼ100%海外依存なので、それを考慮すると自給率はすでにゼロ。

資料：農林水産省公表データ。推定値は東京大学鈴木宣弘研究室による。

気候変動時代と教育③



Approved Version

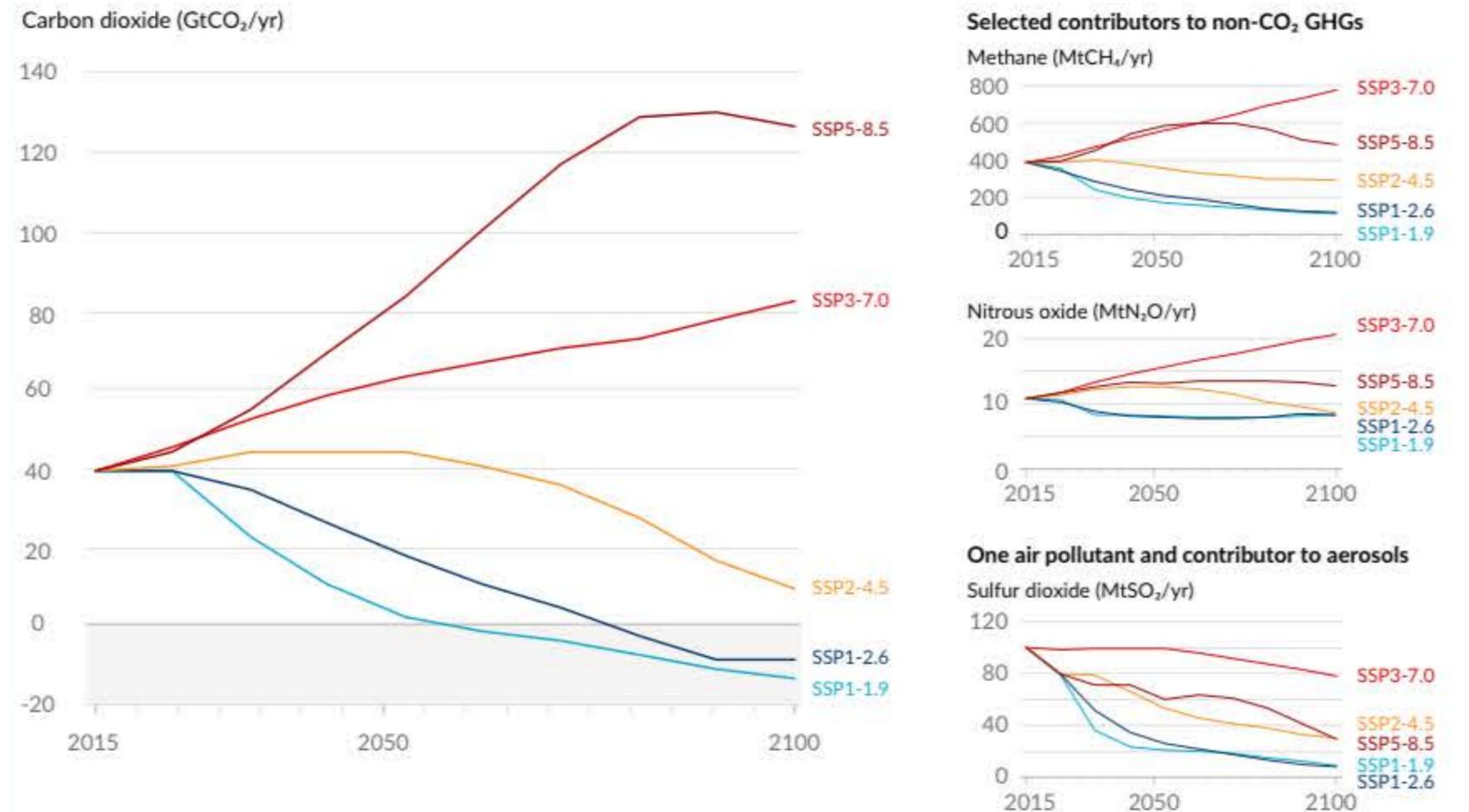
Summary for Policymakers

IPCC AR6 WGI

geographical patterns of many variables can be identified at a given level of global warming, common to all scenarios considered and independent of timing when the global warming level is reached. {1.6, Box 4.1, 4.3, 4.6, 7.5, 9.2, 9.6, Cross-Chapter Box 11.1, Cross-Section Box TS.1}

Future emissions cause future additional warming, with total warming dominated by past and future CO₂ emissions

a) Future annual emissions of CO₂ (left) and of a subset of key non-CO₂ drivers (right), across five illustrative scenarios



私が創造している教育は・・・

主体的な行動者育成と教育(環境教育等)

The '3.5% rule'



1.4人/40人

国民の3.5%以上が参加する非暴力の抗議運動が起きれば、
(ほぼ) 必ず変化がもたらされてきた。

(Chenoweth, E. 2020: Questions, answers, and some cautionary updates
regarding the 3.5% rule. Carr Center Discussion Paper Series)

主体的な行動者育成と教育(環境教育等)

Step1.0



March 2015 @ Borneo Island, Malaysia

2015年3月@ボルネオ島(マレーシア) 9



Study Tour Project in Borneo, Malaysia

ボルネオ・スタディツアーの企画・運営



5年間の100名の中高生,50名の教育関係者





Climate Justice
気候正義を求め
COP26 行こう

NOT A PENNY
MORE FOR
DIRTY ENERGY

KEEP IT
IN THE
GROUND

NO NEW
FOSSIL FUEL
PROJECTS

日本の
気候危機から
COP26 行っちゃう



大人に伝えたい

COP26に参加
(総理に手紙を渡す)

きっかけ

中1の授業・ワークショップ



SEVEN 2日

美術 art 朝集の
月曜日プリント提出
次回内容は不明
片づけ-フイル 鞆用長

化学 今後の予定
28日(水)お数強
12月20日(土)テスト
9日(土)テスト返却
11日(月)実験

Word list

厚生委員会から加減器について
11月-2月にかけて加減器を使用
します。破損や故障などが無い
ようにおねがいします。
インフルエンザ 風邪 予防
しましょう!



500とは
500に少し替わってみましょう
【問】500に17課題のあなたの順位は？

上田 杜一氏



未来をつくるために学ぶ人になろう。



増刷決定!
全国の書店で
販売中!



SDGs for School

2015年9月、193の国連加盟国の全会一致により2030年までの「持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals : SDGs (エス・ディー・ジーズ)」が採択されました。一方、日本では小・中・高等学校の新学習指導要領に持続可能な社会の創り手の育成が学校の役割であると明記されました。

SDGs for Schoolは、こうした背景のもと、持続可能な未来をつくるために学ぶことの楽しさを、先生や子どもたちに届けよう!と始めたプロジェクトです。その第一弾として制作したビジュアルブック『未来を変える目標 SDGsアイデアブック』は、インフォグラフィックや写真、マンガなどを使い、17個の目標の説明、優れたアイデアに焦点を当てた世界の活動34事例を紹介。また、環境問題や金融、福祉、テクノロジーの専門家など14名の執筆者の解説やコラムも掲載し、読者の学びの心を刺激するこれまでにない書籍です。

<http://www.thinktheearth.net/sdgs/>



未来を変える目標 SDGsアイデアブック

編著・発行：一般社団法人Think the Earth
発 売：紀伊屋書店
編集協力：国際協力機構 (JICA)
監修・解説：蟹江憲史 (慶應義塾大学大学院 教授)
序 文：根本かおる (国連広報センター 所長)
マ ン ガ：ロビン西 (代表作『マインド・ゲーム』)
編集ディレクター：上田壮一 (Think the Earth)

コラム (掲載順)：
稲場雅紀 (SDGs市民社会ネットワーク) 足立直樹 (レスポンスアビリティ代表)
北村友人 (東京大学大学院准教授) 田瀬和夫 (SDGパートナーズ代表)
須藤シンジ (ピープルデザイン研究所代表) 河口真理子 (大和総研主任研究員)
紫牟田伸子 (シビックプライド研究会) 小山淑子 (早稲田大学講師)
末吉里花 (エンカル協会代表) 山藤旅間 (都立高校・附属中学校教諭)
村井 純 (慶應義塾大学教授) 山本宗雄 (都立高校・附属中学校教諭)

仕 様：A5フルカラー 176頁
用 紙：FSC®認証紙を使用
定 価：1,800円+税

※本書の売上げの一部が
SDGs for Schoolの活動を支援しています



◀ ティーチャー登録はこちら
先生向けに学校で役立つ情報を
不定期で配信しています。



◀ 企業・自治体の方はこちら
SDGsの講演や研修会などを行っています。
お気軽にお問い合わせください。

Think the Earth

お問い合わせ：一般社団法人Think the Earth
TEL:03-3464-5221 sdgs-school@thinktheearth.net



主体的な行動者育成と教育(環境教育等)

Steo1.0

- ① 学びと社会の接続 → 価値観の外へ
- ② 本物の現場と大人・先輩たちの背中 → ロールモデル
(子どもたち向けにしない)
- ③ 多様な価値の融合 → イノベーション

主体的な行動者育成と教育(環境教育等)

Step2.0

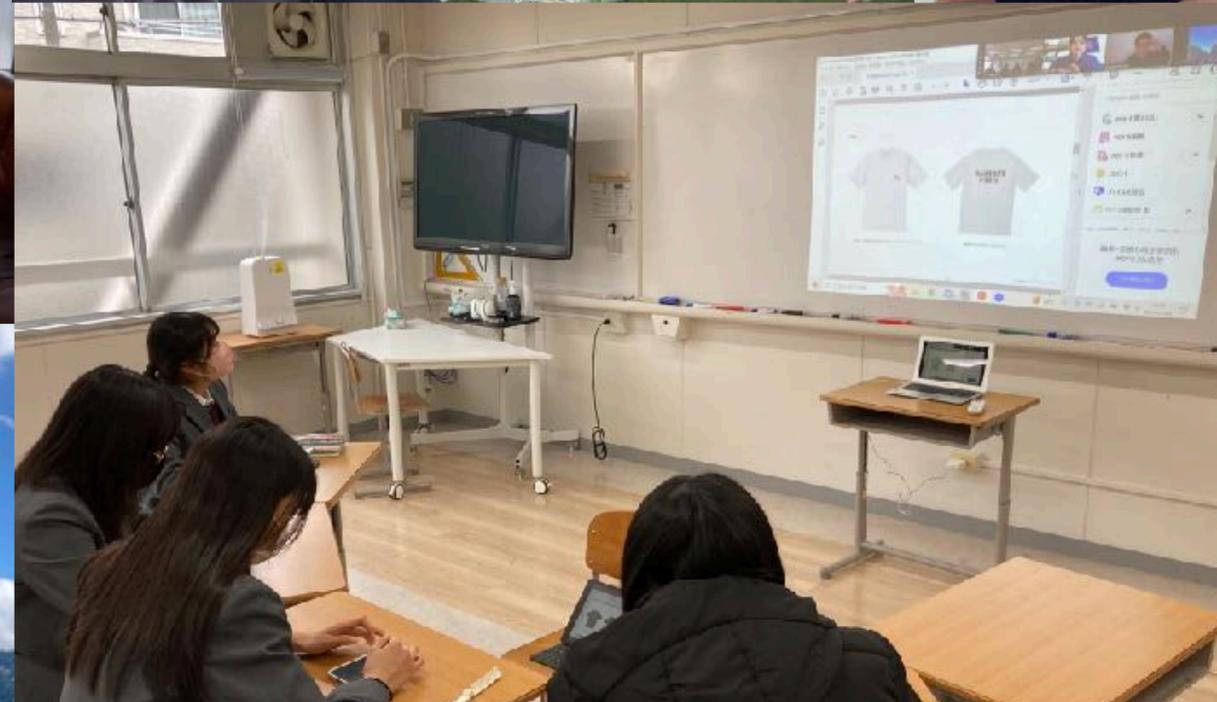


授業

	月	火	水	木	金	土
朝活動	朝学習		<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; text-align: center;"> GURRICULUM GROSS </div>	朝学習	委員会	
1						
2						
3						
昼	昼食			昼食		
5						
6						

1日
余白・自由
がある時間割

more than 130 projects
2022







Organic Cotton & FSC Project, Hinohara Village, Tokyo

東京都檜原村オーガニック&FSC プロジェクト



日本の未来・今までの価値観にない大人・退行

中国地方

岡山県西粟倉 @移住・vivi stop
広島県尾道 @アート・町づくり
広島県呉市 @介護・100年時代
広島県豊田郡 @地域みらい留学

関西地方

三重県二木島 @漁業・林業・製材
三重県志摩市 @地方医療
三重県南伊勢市 @養殖

北海道地方

興部町 @有機畜産・野生動物
浦幌町 @漁業・農業・食の安全

東北地方

岩手県岩泉町/遠野市 @山地酪農
宮城県雄勝町 @復興・野生動物
宮城県女川町 @防災・復興
宮城県石巻市 @復興・音楽
秋田県五城目町 @未来の教育
福島県南相馬市 @復興・起業

関東地方

東京都中野区
@都市課題・都市型農法
東京都檜原村 @東京の林業
・オーガニックコットン

中部地方

新潟県関川村 @稲作・雑穀循環
山梨県北杜市 @未来型循環農業
長野県長野市 @まちづくり×人
岐阜県飛騨市 @林業・学園構想
愛知県豊田市 @高校生トラベル

四国地方

徳島県美波町 @半IT半X・地方創生
香川県高松市 @食・町づくり
愛媛県松野町 @地域資源・自然農法・起業

九州地方・沖縄地方

長崎県対馬市 @漁業・海洋ゴミ
宮崎県都農町 @建築・地方デジタル・教育
鹿児島県奄美大島 @マリンスポーツ・亜熱帯の森
沖縄県宜野湾市 @沖縄戦・基地問題・遺骨収集

旅する学校













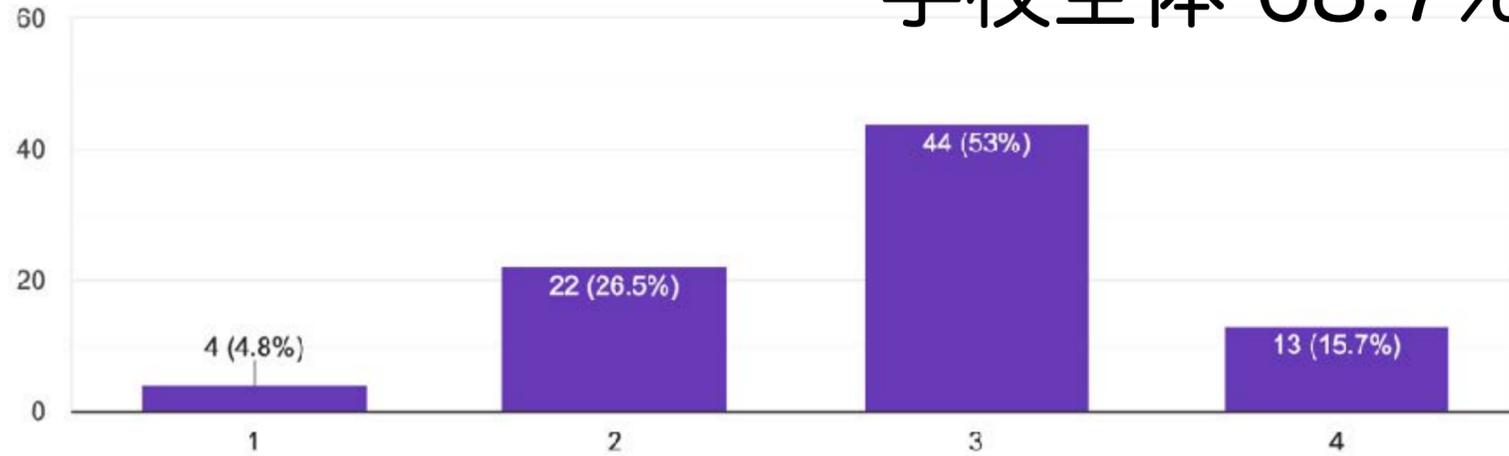




余白と旅

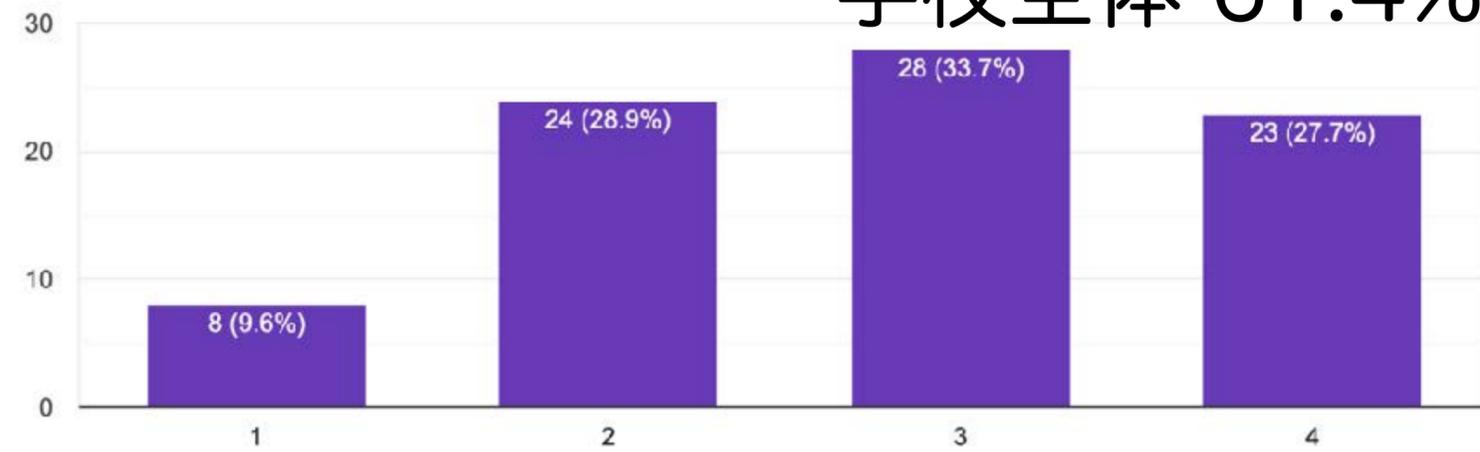
問4 この授業を通じて、自分の国に解決したい社会課題ができましたか？もしくは増えましたか？
83件の回答

学校全体 68.7%



問5 この授業を通じて、社会課題について、家族...的に話し合う（議論する）ことは増えましたか？
83件の回答

学校全体 61.4%



	自分を大人だと思う	自分は責任がある社会の一員だと思う	将来の夢を持っている	自分で国や社会を変えられると思う	自分の国に解決したい社会課題がある	社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している
日本	29.1%	44.8%	60.1%	18.3%	46.4%	27.2%
インド	84.1%	92.0%	95.8%	83.4%	89.1%	83.8%
インドネシア	79.4%	88.0%	97.0%	68.2%	74.6%	79.1%
韓国	49.1%	74.6%	82.2%	39.6%	71.6%	55.0%
ベトナム	65.3%	84.8%	92.4%	47.6%	75.5%	75.3%
中国	89.9%	96.5%	96.0%	65.6%	73.4%	87.7%
イギリス	82.2%	89.8%	91.1%	50.7%	78.0%	74.5%
アメリカ	78.1%	88.6%	93.7%	65.7%	79.4%	68.4%
ドイツ	82.6%	83.4%	92.4%	45.9%	66.2%	73.1%

Q4 自分で国に解決したい社会課題がある (上左)

- ・全国の18歳 46.4%
- ・新渡戸(非対称) 64.4%
- ・新渡戸(探究コース) 78.6%

Q5 社会課題について、家族や友人などと議論している (上右)

- ・全国の18歳 27.2%
- ・新渡戸(非受講) 55.9%
- ・新渡戸(探究コース) 72.0%

主体的な行動者育成と教育(環境教育等)

Steo2.0

- ① 旅 → 原体験・価値変容
- ② 深い次元の問い → 探究するための十分な「余白」
- ③ 傾聴と対等性 → 学校/先生のあり方・学校文化へ

主体的な行動者育成と教育(環境教育等)

Step3.0

一般社団法人 旅する学校



ミッション

ハードの学校からの脱却

ビジョン

ソフトの学校をテーマに

地域が学校となり

都市集中型の日本の教育を再建する

コンテンツ

- ①スタディツアーの企画・運営
- ②サポート校の運営
- ③オンライン勉強会
- ④ソフトの学校づくり



中国地方

岡山県西粟倉 @移住・vivi stop
広島県尾道 @アート・町づくり
広島県呉市 @介護・100年時代
広島県豊田郡 @地域みらい留学



関西地方

三重県二木島 @漁業・林業・製材
三重県志摩市 @地方医療
三重県南伊勢市 @養殖



北海道地方

興部町 @有機畜産・野生動物
浦幌町 @漁業・農業・食の安全

東北地方

岩手県岩泉町/遠野市 @山地酪農
宮城県雄勝町 @復興・野生動物
宮城県女川町 @防災・復興
宮城県石巻市 @復興・音楽
秋田県五城目町 @未来の教育
福島県南相馬市 @復興・起業

関東地方

東京都中野区
@都市課題・都市型農法
東京都檜原村 @東京の林業
・オーガニックコットン

中部地方

新潟県関川村 @稲作・雑穀循環
山梨県北杜市 @未来型循環農業
長野県長野市 @まちづくり×人
岐阜県飛騨市 @林業・学園構想
愛知県豊田市 @高校生トラベル

四国地方

徳島県美波町 @半IT半X・地方創生
香川県高松市 @食・町づくり
愛媛県松野町 @地域資源・自然農法・起業

九州地方・沖縄地方

長崎県対馬市 @漁業・海洋ゴミ
宮城県都農町 @建築・地方デジタル・教育
鹿児島県奄美大島 @マリンスポーツ・亜熱帯の森
沖縄県宜野湾市 @沖縄戦・基地問題・遺骨収集

2023年7月時点



ミッション

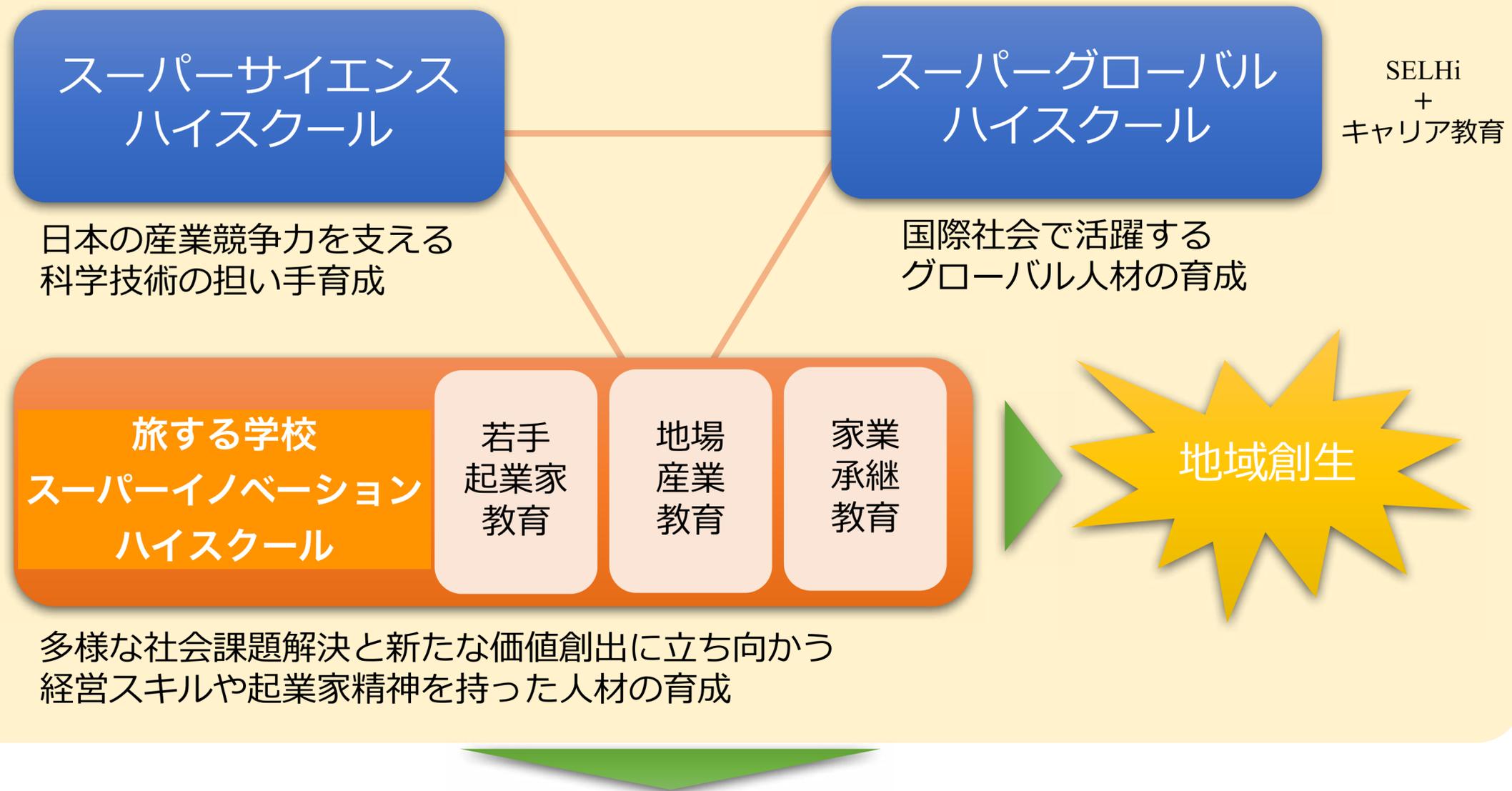
ハードの学校からの脱却

ビジョン

持続可能なソフトの学校をテーマに
地域が学校となり都市集中型の日本の教育を再建する

旅する学校の位置づけ

本事業では、科学技術系人材を育成する「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」、グローバルリーダーを育成する「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」の、発展的集大成として、起業教育、起業体験活動を実施する、モデルの構築を目指します。



自らのリソースを見極め、チャンスを生み出せる人材育成へ

これからの地域創生を担う人材育成 = 起業、地場産業、家業承継
次世代日本の国土強靱化を支えるレジリエントな人材育成
持続可能な社会 (SDGs解決) の担い手となる人材育成

持続可能なソフトの学校

時間割案①

	月	火	水	木	金	土・日
	朝学習／サークル対話					
1	<h1>フィールドワーク</h1> <p>自然・暮らし・アート・ビジネス・文化/歴史・遊び</p> <h1>講義</h1> <p>地域に関わる大人による講義</p>				レポート制作 (単位学習)	休暇
2						
3						
4						
5						
6						

持続可能なソフトの学校

時間割案②

	月	火	水	木	金	土・日
	朝学習／サークル対話					休暇
1	英会話・読書・レポート・アート(デザイン)					
2	自然・暮らし・アート・ビジネス・文化/歴史・遊び フィールドワーク・講義 地域に関わる大人による講義					
3						
4						
5						
随時：単位学習						

目指す生徒像

多くの学生？(今まで？)

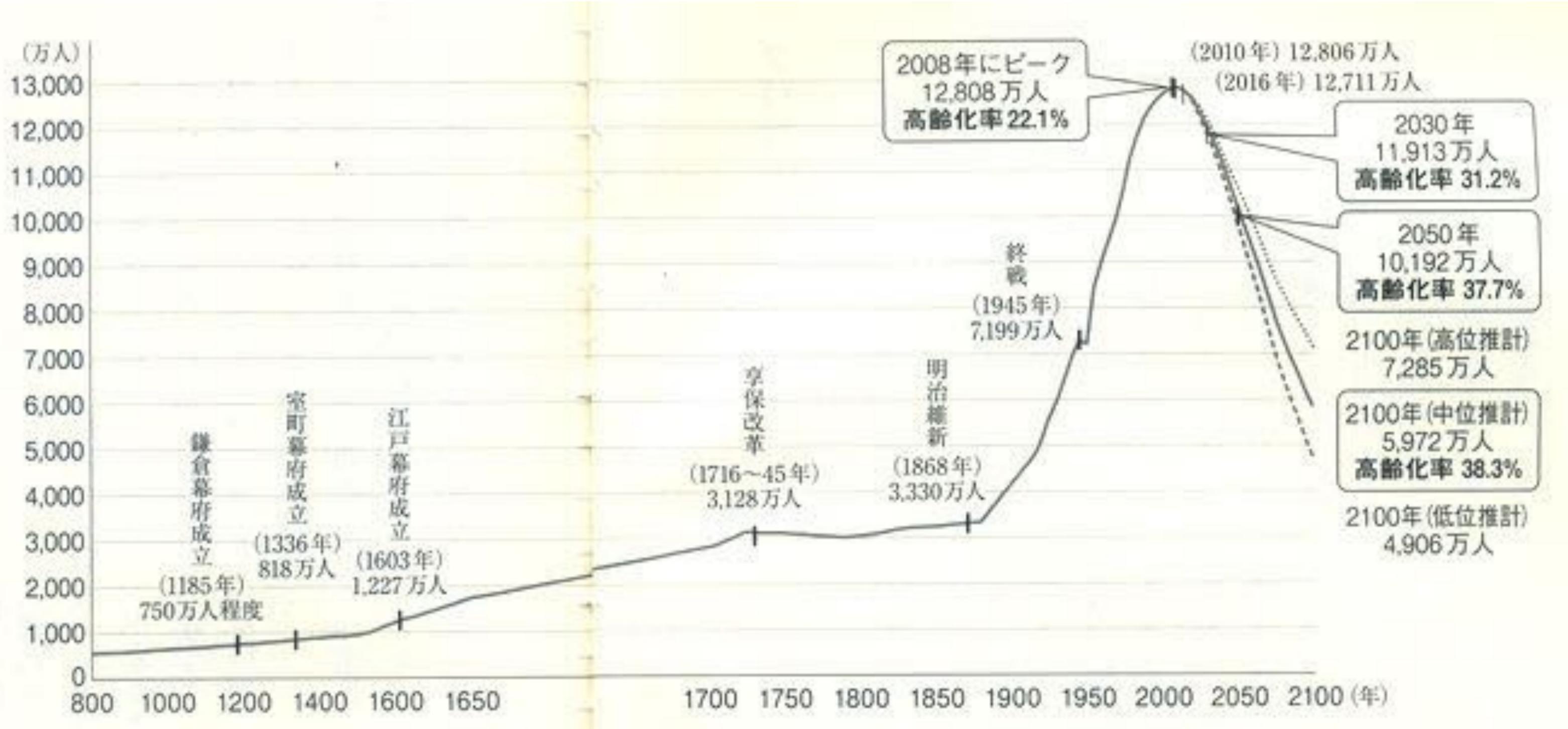
旅する学校

- 中堅私立大学
 - 幅広い業界を目指す
 - サークル なし
 - アルバイト 接客
 - 資格 自動車免許
 - 留学 なし
 - インターン なし
- 大学3年の就活で人生に迷う

- 高校時代に個人事業主になる
 - **ロールモデルの大人**に出会えている
 - 原体験と「きっかけ」持っている
 - **多様な価値観**に触れる経験がある
 - スキル
- 高校時代に**プロジェクト**経験あり
高校時代に**企業との連携**経験あり
(**起業/インターン**経験あり)
高校時代に**研究活動**とコンテスト
等に応募経験あり(入賞)

結果的に . . .

日本の未来と向き合い・・・



総務省「国勢調査報告」および「人口統計年報」より国土交通省が作成

日本人としての自立と向き合い・・・

表1 2035年の日本の実質的な食料自給率

(単位:%)	食料国産率		飼料・種自給率	食料自給率	
	(A)	2035年推定値	(B)	(A×B)	2035年推定値
コメ	98	106	10	10	11
野菜	80	43	10	8	4
果樹	40	28	10	4	3
牛乳・乳製品	59	28	42	25	12
牛肉	43	16	26	11	4
豚肉	48	11	13	6	1
鶏卵	96	19	13	12	2

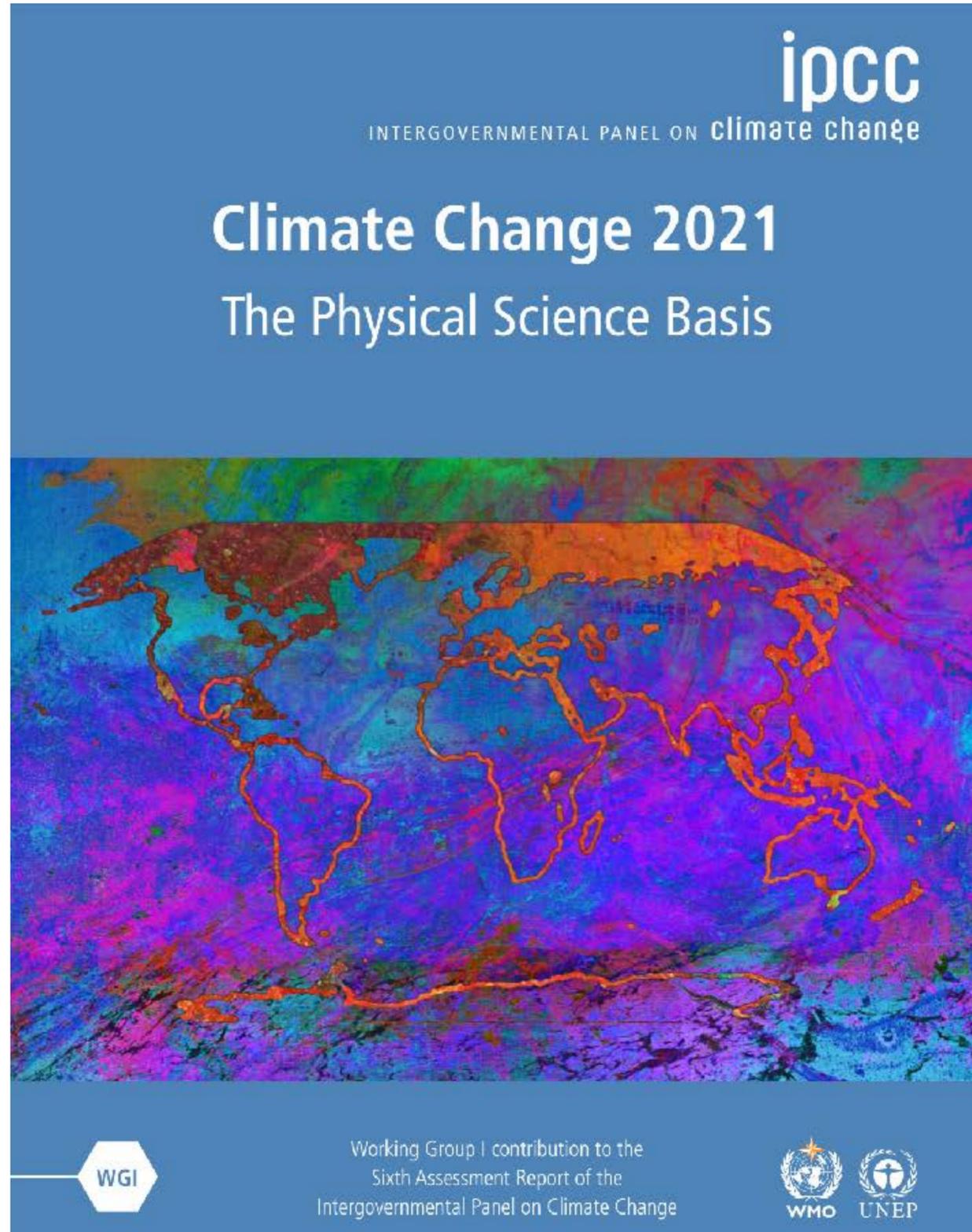
注:1) 種の自給率10%は野菜の現状で、コメと果樹についても同様になると仮定。

注:2) コメ需要は2015=100として2035=62、供給は100→66だが、種の9割が輸入なら66→6.6。

注:3) 鶏卵はヒナがほぼ100%海外依存なので、それを考慮すると自給率はすでにゼロ。

資料：農林水産省公表データ。推定値は東京大学鈴木宣弘研究室による。

主体的な行動者へ . . .



Approved Version

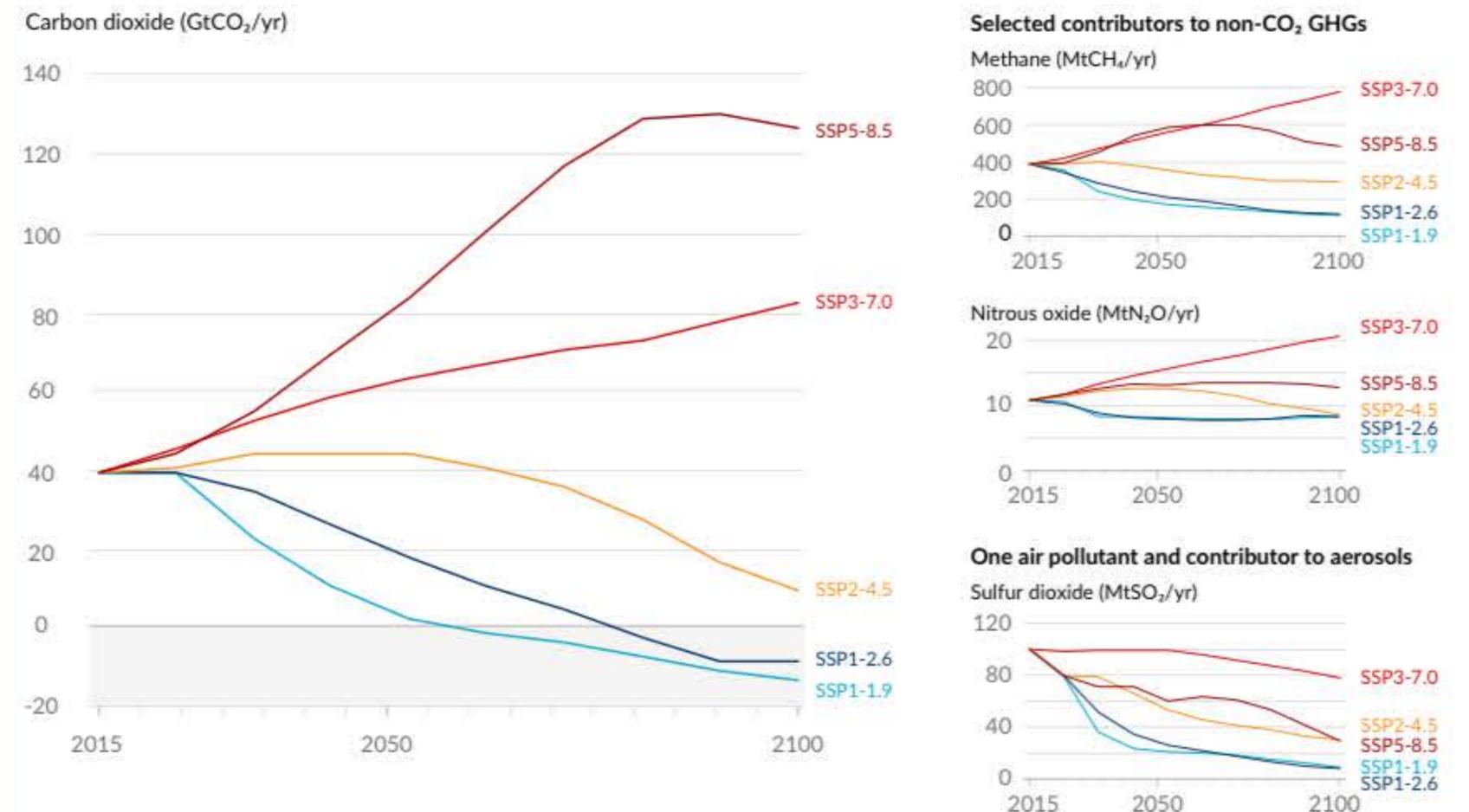
Summary for Policymakers

IPCC AR6 WGI

geographical patterns of many variables can be identified at a given level of global warming, common to all scenarios considered and independent of timing when the global warming level is reached. {1.6, Box 4.1, 4.3, 4.6, 7.5, 9.2, 9.6, Cross-Chapter Box 11.1, Cross-Section Box TS.1}

Future emissions cause future additional warming, with total warming dominated by past and future CO₂ emissions

a) Future annual emissions of CO₂ (left) and of a subset of key non-CO₂ drivers (right), across five illustrative scenarios



日本の生産現場と文化の残るエリアとの交流を高める

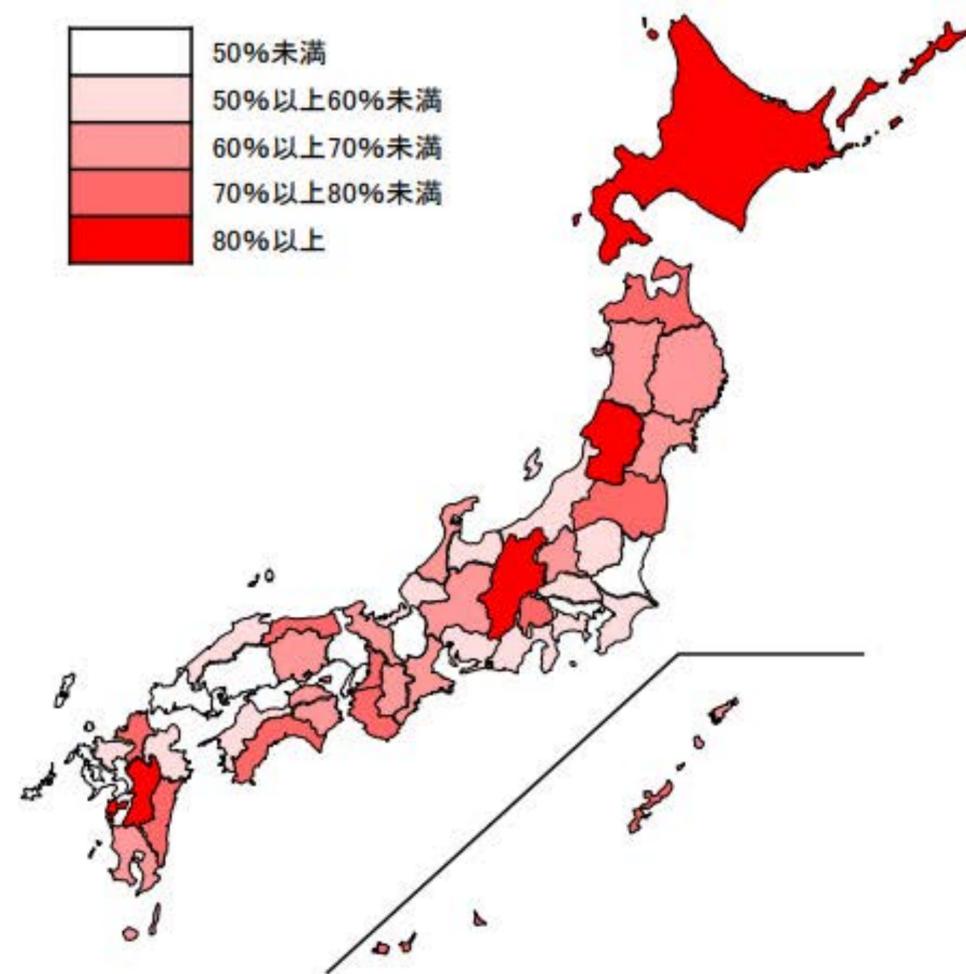
全国の市区町村のうち65%は、公立高校が0ないし1つしかない。

640市町村（37%）は1つのみ、489自治体（28%）はゼロ。

多くの高校の選択肢から選べるのは都市部のみ。

	割合	内訳（立地）			割合	内訳（立地）	
		0校	1校			0校	1校
北海道	83.2% (149 / 179)	54	95	京都府	61.5% (16 / 26)	8	8
青森県	77.5% (31 / 40)	14	17	大阪府	79.1% (34 / 43)	10	24
岩手県	60.6% (20 / 33)	3	17	兵庫県	34.1% (14 / 41)	1	13
宮城県	65.7% (23 / 35)	5	18	奈良県	69.2% (27 / 39)	18	9
秋田県	64.0% (16 / 25)	8	8	和歌山県	70.0% (21 / 30)	13	8
山形県	80.0% (28 / 35)	10	18	鳥取県	78.9% (15 / 19)	10	5
福島県	76.3% (45 / 59)	23	22	島根県	52.6% (10 / 19)	3	7
茨城県	43.2% (19 / 44)	6	13	岡山県	63.0% (17 / 27)	10	7
栃木県	56.0% (14 / 25)	4	10	広島県	43.5% (10 / 23)	1	9
群馬県	65.7% (23 / 35)	13	10	山口県	42.1% (8 / 19)	2	6
埼玉県	58.7% (37 / 63)	12	25	徳島県	66.7% (16 / 24)	9	7
千葉県	53.7% (29 / 54)	14	15	香川県	64.7% (11 / 17)	4	7
東京都	33.9% (21 / 62)	8	13	愛媛県	50.0% (10 / 20)	1	9
神奈川県	57.6% (19 / 33)	7	12	高知県	76.5% (26 / 34)	16	10
新潟県	56.7% (17 / 30)	8	9	福岡県	73.3% (44 / 60)	21	23
富山県	53.3% (8 / 15)	1	7	佐賀県	55.0% (11 / 20)	4	7
石川県	63.2% (12 / 19)	2	10	長崎県	38.1% (8 / 21)	2	6
福井県	58.8% (10 / 17)	6	4	熊本県	84.4% (38 / 45)	22	16
山梨県	74.1% (20 / 27)	11	9	大分県	50.0% (9 / 18)	2	7
長野県	80.5% (62 / 77)	40	22	宮崎県	73.1% (19 / 26)	13	6
岐阜県	66.7% (28 / 42)	14	14	鹿児島県	67.4% (29 / 43)	14	15
静岡県	54.3% (19 / 35)	4	15	沖縄県	70.7% (29 / 41)	18	11
愛知県	55.6% (30 / 54)	8	22				
三重県	69.0% (20 / 29)	8	12				
滋賀県	36.8% (7 / 19)	4	3	全国	64.8% (1129 / 1741)	489	640

公立高校が0ないしは1である市区町村の割合

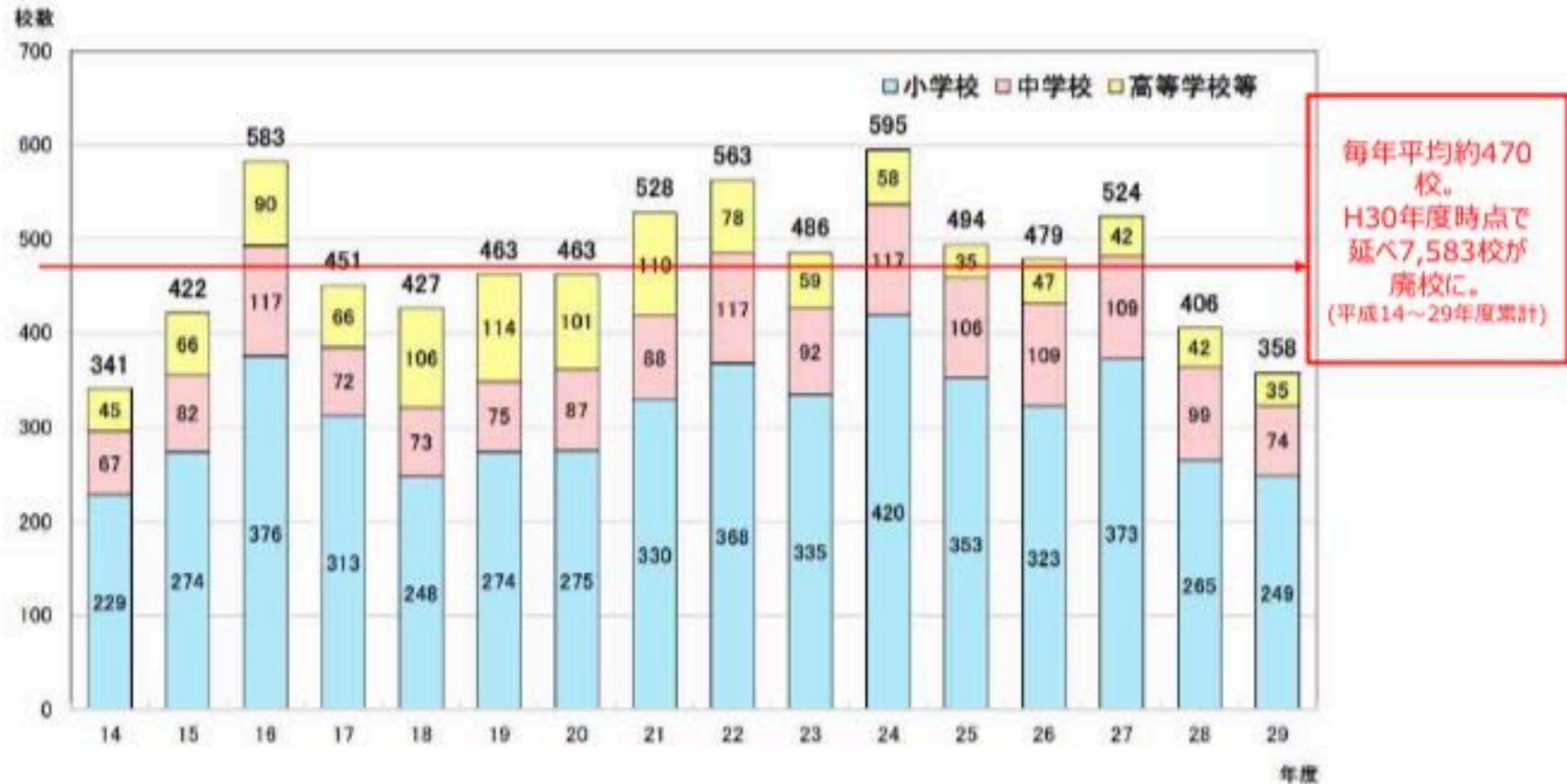


現在の教育課題も・・・

廃校の発生状況

- ◆ 少子化の影響により、毎年平均約470校程度、廃校が発生（【図1】）。

【図1】 公立学校の年度別廃校発生数（平成14年度～平成29年度）



現在の教育課題も・・・

令和4年度東京都公立学校教員採用候補者選考（5年度採用）結果

校種・教科・科目等		採用見込者数 (名)	応募者数 (名)	受験者数 (名) A	名簿登録者数 (名) B	倍率 (倍) A/B	期限付任用 教員名簿 登録者数 (名)		
小学校全科	-		2,915	2,523	1,750	1.4	334		
小学校全科（理科コース）	-		26	22	13	1.7			
小学校全科（英語コース）	-		12	10	4	2.5			
小学校全科 合計	-	1,200	2,953	2,555	1,767	1.4			
中・高等学校共通	国語	-	591	477	184	2.6	85		
	地歴	-	661	551	142	3.9	38		
	公民	-	263	211	52	4.1	22		
	数学	-	589	483	242	2.0	84		
	理科	物理	-	118	160	61	1.6	24	
		化学	-	179	145	71	2.0	29	
		生物	-	163	124	55	2.3	24	
	英語	-	533	415	234	1.8	64		
	音楽	-	202	176	49	3.6	36		
	美術	-	131	103	50	2.1	26		
	保健体育	-	1,021	896	145	6.2	54		
小計	-	1,080	4,451	3,681	1,285	2.9	486		
小・中学校共通	音楽	-	173	140	58	2.4	38		
	美術	-	93	73	45	1.6	16		
	小計	-	80	266	213	103	2.1	54	
小・中・高共通	家庭	-	40	136	110	70	1.6	3	
中学校	技術	-	30	35	26	18	1.4	0	
高等学校	情報	-	48	33	14	2.4	5		
	商業	-	32	21	1	21.0	0		
	工業	機械系	-	12	8	4	2.0	3	
		電気系	-	13	10	6	1.7	1	
		化学系	-	8	6	5	1.2	1	
		建築系	-	8	5	1	5.0	3	
		工芸系	-	3	3	2	1.5	0	
	農業	園芸系	-	7	7	3	2.3	3	
		食品系	-	3	1	1	1.0	0	
		造園系	-	3	2	2	1.0	0	
		小計	-	40	137	96	39	2.5	16
特別支援学校	小学部	-	90	263	227	181	1.3	7	
	中学部	技術	-	若干名	4	4	3	1.3	1
		国語	-	32	29	24	1.2	0	
	中学部 高等部	社会	-	78	66	35	1.9	21	
		数学	-	14	11	6	1.8	2	
		理科	-	17	13	8	1.6	1	
		英語	-	22	17	7	2.4	7	
		保健体育	-	93	79	53	1.5	5	
	小学部 中学部 高等部	音楽	-	33	26	20	1.3	1	
		美術	-	18	13	6	2.2	3	
		家庭	-	15	12	11	1.1	0	
	小計	-	130	322	266	170	1.6	40	
	自立活動	-	若干名	4	2	1	2.0	1	
	特別支援学校合計	-	220	593	499	355	1.4	49	
養護教諭	-	80	754	646	121	5.3	93		
東京教師養成塾生を対象とした特別選考	-	80名程度	72	72	72	1.0	0		
介護福祉士養成施設に2175名超修習者採用候補者特別選考	-	若干名	1	1	0	-	0		
東京都立特別支援学校等における特別選考	-	若干名	2	1	1	1.0	0		
調理師養成施設に2175名超修習者採用候補者特別選考	-	若干名	0	0	0	-	0		
東京都立特別支援学校等における特別選考	-	5名以内	8	6	5	1.2	0		
東京都立特別支援学校等における特別選考	-	10名以内	5	5	5	1.0	0		
合計		2,865	9,413	7,911	3,841	2.1	1,035		

注：スポーツ・文化・芸術特別選考（5名）は除く。

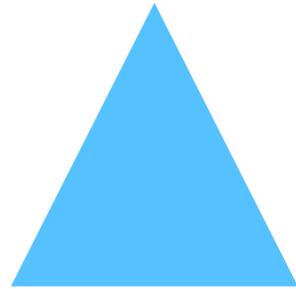
東京都教員採用試験 倍率

2023年度 2.3倍(中高・生物)

2004年度 180倍(高校・生物)

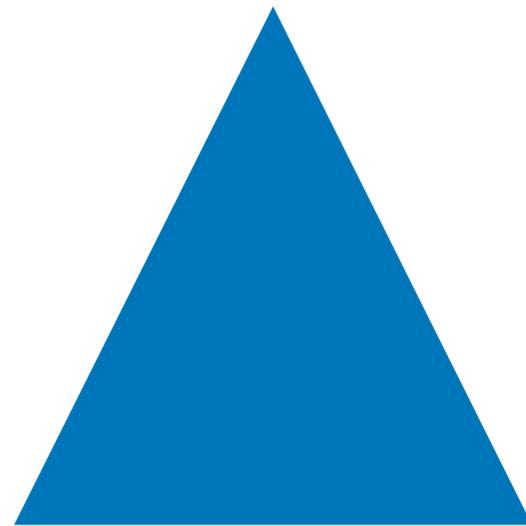
一般社団法人
旅する学校

どこでもいい



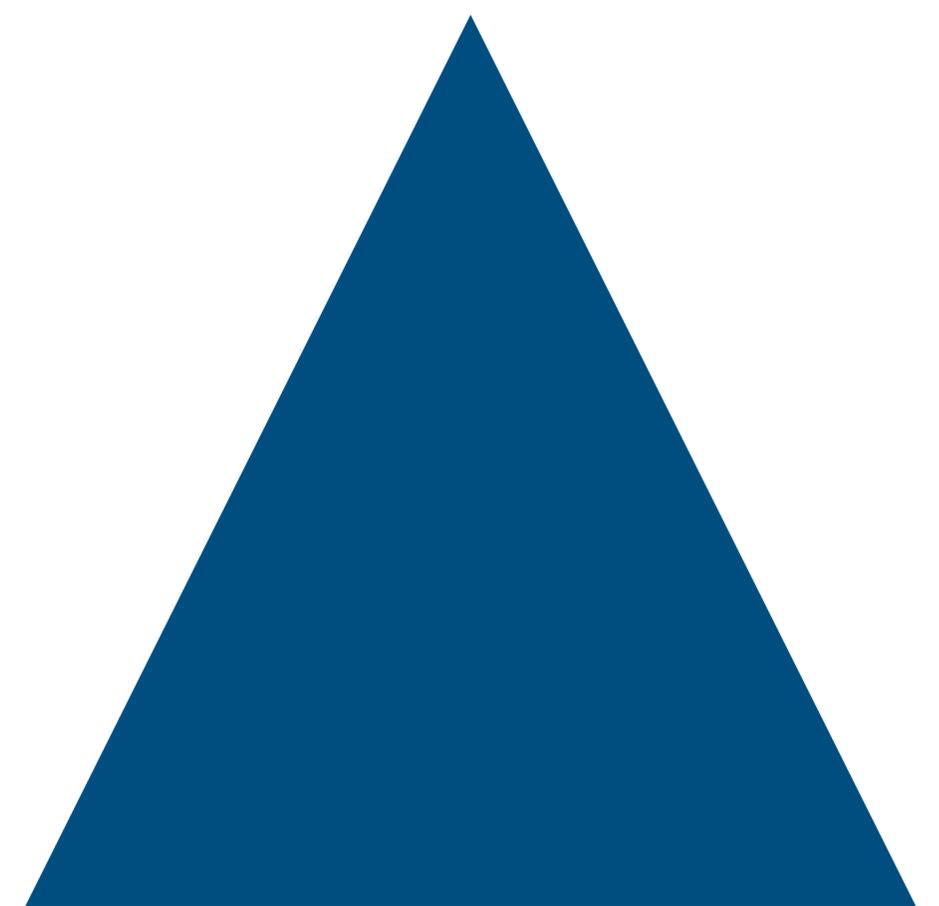
オルタナな学校
新渡戸文化中高

校舎+地域に通う



多くの学校

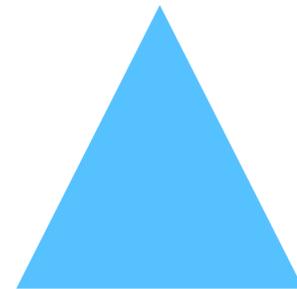
校舎に通う



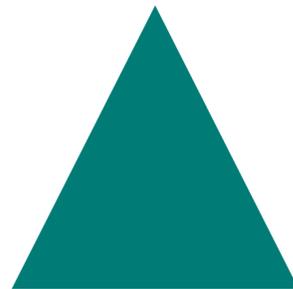
子どもの主体性を育み、 社会変容につなげるための学びの実践について

一般社団法人
旅する学校

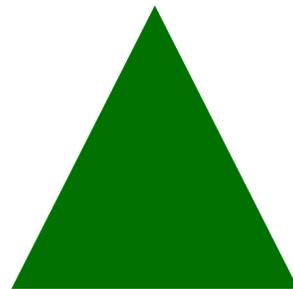
教育



産業



医療



地域づくり・町づくり